

会議名	令和８年度第１回小高区義務教育設立検討準備協議会 (第７回小高区義務教育学校設立検討準備協議会)
日時	令和８年６月１７日（水） １８：３０～２０：００
場所	小高生涯学習センター 研修室 （浮舟文化会館）
参加者（庁内）	教育長、教育委員会事務局長ほか
参加者（庁外）	小高区義務教育学校設立検討準備協議会委員 １１名

【説明事項】

（１）小高区学校適正化の経過について

小高区における学校適正化の協議経過等について事務局から説明。

①主要な意見

特になし。

②質疑応答

特になし。

③決定事項・今後の対応など

特になし。

（２）小高区学校適正化に係る全体ロードマップ及びスケジュールについて

学校適正化に係るロードマップの目的や全体像、情報提供・意見集約の考え方、スケジュールのイメージ等について説明の後、協議。

①主要な意見（〇・・・委員からの意見 ⇒委員の意見に対する他委員の意見）

〇ほぼ教育委員会側の一方通行の文章だけ見ていると、学校の教師はどう思っているかの観点は一切入ってこない。教師はどう思っているのか、どんな関わり方をしたいのか等、そういった意見がぜひ欲しい。

〇８月に大きな方向性を一つ捉えるのは賛成。具体的なものについては後で区別して考えることも賛成。いきなり全部議論すると、論点がわからなくなったりするので、この二つの区分というのは賛成。一方で、８月に大きな方向性を決めるのであれば、方向性をまとめる前に、地域の意見を聞いてから決定して欲しい。

〇小中学校の教育連携における課題について、現場教師の本音や具体的なメリット・デメリットが知りたい。

ある程度メリット・デメリットを示さないと、十分な意見集約はできないのではないかな。

⇒（学校の関わり方ということで、委員として参画いただいている校長より回答）

学校現場として、施設一体型が良いのかどうかについては、メリット・デメリット両方あると思っている。現状の教育活動における効果や苦勞している点等については、教育委員会で現在集約してもらっているため、その内容については、今後協議会で共有されると思う。

⇒本校から小学校に乗り入れる形で授業をしている先生方は、小中一貫教育のメリット・デメリットがわかると思うが、中学校のみで授業をしている教員はあまりイメージが湧かず、意見が出にくいと思う。

また、乗り入れについては、中学校は時間固定になっているので、中学校から小学校への乗り入れはできるが、小学校は変動的なので、小学校の先生が中学校に来るのは難しいのではないかと感じている。

○PTAの方々だけではなく、OBの方からも意見を求めるなど、広く意見を求めるためには、何らかのプレゼンの機会が必要だと思う。

また、PTAの皆さんに負担をかけるなと思ったのが、毎月協議をしていただいて、その意見をフィードバックしてもらうという形である。非常にタイトなスケジュールの中で、皆さんにかかる負担は相当ではないかと危惧している。

⇒中学校のPTAとしての意見集約は、SNSなど駆使しながら進めていきたい。なお、初回については、対面による説明等も必要であるため、座談会を行いたいと考えている。

○地域住民からの意見集約等の必要性については理解する。なお、現役の保護者が決めた方向性に対して、地域としてどのように携わりたいと考えているか。

⇒地域としては、子どもたちや学校行事に関心がある方もいるので、検討状況について知らせたいという思いがある。現役の保護者が決めた方向性を覆すようなことを考えているわけではない。

○この地域は、小さいコミュニティで、地域の温かい目で見守ってもらえるのが特色だと思っている。

この協議会には地域の方、学校の代表、こども園の保護者といった様々な立場の方がおり、これらを繋ぐ場だと思っている。保護者や子どもといった当事者の意見が最優先されるべきと思うが、その状況を地域の方々に共有し、ご理解いただいてサポートしていただくような会であったら良い。

○市民懇談会のような形ではなく、もっとコミュニティを小さくした中で、意見を伺えれば良いのではないかな。

○地区の区長さん等に人を集めてもらい、そこで協議してもらった意見を、1、2つほど持ってきてもらうのが実施しやすい方法だと思う。

○地域に対しても、協議の状況や意見集約等についての共有をしてもらえると、気持ち的な繋がりも出てくるし、方向性をまとめるまでの経過を見て応援していきたいという気持ちがある。

○地域の方は、オンライン意見箱よりも、協議会だよりとして広報紙と一緒に、紙ベースとして配布した方が良いと思う。

②質疑応答（委員から事務局に対する意見・質問）

委員からの意見	事務局からの回答
ほぼ教育委員会側の一方通行の文章だけ見ていると、学校教師はどう思っているかの観点が一切入ってこない。教師はどう思っているのか、どんな関わり方をしたいのか等、そういった意見がぜひ欲しい。	先生方のご意見については、先生方は定期的な異動もあるため、学校の枠組みについては、教育委員会側で考えていく必要があると思っている。どのような子供たちを育てていきたいのか、どんな学校・教育を目指していくのかについては、先生方のご意見をいただきたいと思っている。 先生方にどちらの学校が良いか、枠組みを決定していただくのは難しいと捉えているので、しっかり保護者の方、地域の方、そして教育委員会としてご意見を交わしながら決めていきたい。
8月に大きな方向性を出すのであれば、地域の意見を聞いてから決定して欲しい。	地域懇談会の部分については、保護者の方がどういう学校を望むのか、どういう教育環境を望むのかというところをまず聞かせていただき、それを基に、方向性を決めていきたいと思っている。 保護者の意見を踏まえ、協議会で協議していただき、ある程度の方向性が見えてきたものを持って、地域の方の方に下ろしていきたいと思っている。 どこかのタイミングで、地区の方にご説明したいと考えている。
オンライン意見箱については既に開設しているのか。	まだ開設していない。開設した際は皆様にお知らせをする。

③決定事項・今後の対応など

今回の協議議題に対する意見を、各校 PTA 役員による座談会やオンライン意見箱で集約し、それらの意見を踏まえながら、第3回の検討準備協議会において決定する

【次回会議の予定】

令和8年6月26日（金）に開催。